

精神科診療を要する救命救急センター高齢患者に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年7月25日～2019年12月31日

〔研究課題〕

救命救急センターでのコンサルテーション・リエゾン精神科診療における高齢患者に関する検討

〔研究目的〕

人口の高齢化に伴い高齢者救急医療体制の整備が急がれます。高齢患者は複数の慢性疾患を抱え、身体機能や精神機能が低下した状態であるが故に、治療のゴールや方向性など様々な視点から医療を考える必要があります。本研究では、救命救急センターに入院となった高齢者患者のうち、特に自殺未遂、認知症、せん妄といった精神科診療が必要な患者の実態を調査します。

〔研究意義〕

救命救急センターに入院となった精神科診療が必要な高齢患者の実態を調査することで、今後の救急医療体制を検討するための手掛かりになると考えます。

〔対象・研究方法〕

2013年4月から2017年3月までの間に当院救命救急センターから当科に診察依頼(コンサルテーション・リエゾン診療)がなされた75歳以上の高齢入院患者を対象に診断、在院日数、転帰等を調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科(精神神経科学講座)

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の取り扱いについては、使用するデータを匿名化し、統計的に処理するため個人が特定できることはありません。また、データの保管や廃棄も含めて、研究の全ては本学の倫理委員会の審査を得て行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：精神神経科学講座 病院准教授 赤羽晃寿

研究分担者：精神神経科学講座 大学院生 渡邊公聡

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33710]